

かながわ脱炭素大賞表彰実施要領

(趣旨)

第1条 この実施要領は、かながわ脱炭素大賞表彰要綱（以下「要綱」という。）第9条の規定に基づき、必要な事項を定める。

(表彰の対象)

第2条 要綱第3条に定める表彰の対象は、次に掲げる事項に該当するものとする。

(1) 普及・促進部門

ア 次のいずれかに該当し実践的な普及・促進活動を行った個人若しくは団体で、その内容において活動実績や独自性、普及効果、連携、継続性等において優れていると認められるもの。

(ア) 再生可能エネルギーの導入等や省エネルギーの取組の拡大に貢献したもの

(イ) 脱炭素型ライフスタイルや事業活動の拡大に貢献したもの

(ウ) 脱炭素への関心を高め、学び、行動する人を増やすことに貢献したもの

(エ) 農林水産業、自然災害、水資源・水環境、自然生態系、健康等の各分野で、地球温暖化の影響への適応に係る普及に貢献したもの

イ 専ら神奈川県内で行われた活動であり、原則として、概ね5年以上にわたって継続し、かつ、将来にわたり継続する見込みのあるもの。ただし、功績等が特に顕著な取組にあっては、この限りでない。

(2) 事業活動温暖化対策計画書制度部門

ア 要綱第3条第1項第2号アに規定する表彰

【特定大規模事業者】

(ア) 事業活動温暖化対策計画書制度に基づき表彰を実施する年度の前年度（令和6年度に実施する表彰に限り前4年度の間）に県へ結果報告書を提出した事業者であって、その事業活動における温室効果ガスの削減実績が顕著であると認められるもの。

(イ) (ア)の内容において先進性や独自性、経済性、削減効果の持続性又は他者への波及効果等において優れていると認められるもの。

イ 要綱第3条第1項第2号イに規定する表彰

【中小規模事業者等】

(ア) 事業活動温暖化対策計画書制度に基づき表彰を実施する年度の前年度に県へ結果報告書を提出した事業者であって、その事業活動における温室効果ガスの削減実績が、脱炭素化に向けた取組のモデルになると認められるもの。

(イ) (ア)の内容において他者への波及効果等において優れていると認められるもの。

(3) 建築物・特定開発事業温暖化対策計画書制度部門

ア 建築物温暖化対策計画書制度又は特定開発事業温暖化対策計画書制度に基づき表彰を実施する年度の前年度（令和6年度に実施する表彰に限り前4年度の間）に県へ完了届出書を提出した事業者であって、その建築物又は開発事業が地球温暖化対策の措置に優れていると認められるもの。

イ アの内容において他者への波及効果等において優れていると認められるもの。

(4) 先進技術・導入部門

ア 次のいずれかに該当する個人若しくは団体で、その内容において先進性や独自性、経済性、削減効果の持続性、他者への波及効果又は技術等の普及の度合いが優れていると認められるもの。

(ア) 先進的な再生可能エネルギー及び省エネルギーに係る地球温暖化対策技術又は製品の開発や提供により、従来の一般的な技術等（地球温暖化対策技術及び温室効果ガスの排出

がより少ない製品やサービスをいう。以下同じ。) と比べて、温室効果ガス排出量の削減量、削減率又は排出量原単位において優れ、削減への寄与の実績を上げ又は今後寄与することが確実に期待できるもの

- (イ) 地球温暖化防止につながる革新的又は新しいカテゴリーの製品やサービスの開発・提供を行ったもの
 - (ウ) その他、温室効果ガスの排出量の相殺を行う製品等の提供などの地球温暖化対策技術の開発・製品化や温室効果ガスの排出がより少ない製品やサービスの開発・提供に関して特に優れた取組を行ったもの
 - (エ) 再生可能エネルギーの導入やエネルギー使用の効率化等に関して特に優れた取組を行ったもの
- イ 専ら神奈川県内で行われた取組であり、原則として、表彰を実施する年度及びその前3年度以内に行われたもの。
- (5) ユース未来部門
- ア 第1号ア(ア)から(エ)又は第4号ア(ア)から(エ)のいずれかに該当する30歳未満(表彰年度の10月1日時点)の者、学校教育法第1条で定める学校及び専修学校、省庁が設置する大学校、各種学校、保育園(以下、「学校等」という。)又は構成員の過半数が30歳未満(表彰年度の10月1日時点)の者である団体で、その内容において取組実績や若年者らしい独自性、将来性、普及効果等において優れていると認められるもの。
 - イ 専ら神奈川県内で行われた取組であり、原則として、表彰を実施する年度及びその前3年度以内に行われたもの。ただし、功績等が特に顕著な取組にあっては、この限りでない。
- (6) 知事特別賞
- 県の地球温暖化対策等の推進に貢献した個人若しくは団体で、その功績が特に顕著で知事が特別に認めるもの。

(公募の実施)

第3条 要綱第5条に定める公募等は次により実施するものとする。

- (1) 応募は次の様式に必要な事項を記入し、電子申請又は郵送等により行うものとする。

ア 普及・促進部門

(ア) 個人

- ①申請書(様式1)
- ②応募(推薦)調書〔普及・促進部門 個人用〕(様式2)
- ③その他参考となる資料

(イ) 団体

- ①申請書(様式1)
- ②応募(推薦)調書〔普及・促進部門 団体用〕(様式3)
- ③定款、寄附行為、規約、会則等の写し
- ④その他参考となる資料

イ 先進技術・導入部門

(ア) 個人

- ①申請書(様式1)
- ②応募(推薦)調書〔先進技術・導入部門 個人用〕(様式4)
- ③その他参考となる資料

(イ) 団体

- ①申請書(様式1)
- ②応募(推薦)調書〔先進技術・導入部門 団体用〕(様式5)

③定款、寄附行為、規約、会則等の写し

④その他参考となる資料

ウ ユース未来部門

(ア) 個人

①申請書（様式1）

②応募（推薦）調書〔ユース未来部門 個人用〕（様式6）

③30歳未満であることを証する書類

④その他参考となる資料

(イ) 学校等

①申請書（様式1）

②応募（推薦）調書〔ユース未来部門 学校等用〕（様式7）

③定款、寄附行為、規約、会則等の写し

④その他参考となる資料

(ウ) 団体

①申請書（様式1）

②応募（推薦）調書〔ユース未来部門 団体用〕（様式8）

③定款、寄附行為、規約、会則等の写し

④団体構成員の年齢に関する誓約書（様式9）

⑤その他参考となる資料

(2) 募集期間は別に定めるものとし、郵送の場合は締切当日消印を有効とする。

(3) 応募は、表彰の部門毎に行うものとする。

(4) 公募により収集した応募者の個人情報、表彰者等の選考・連絡にのみ使用し、脱炭素戦略本部室が管理する。

(5) 他薦する場合は、予め被推薦者から、推薦に係る了承を得ることとする。

(6) 同一の者による推薦は、原則として5者を上限とする。

(7) 第三者に個人情報を開示する場合は、応募者の同意を得るものとする。

(候補者の選考)

第4条 要綱第6条に定める候補者の選考は、次により行うものとする。

(1) 審査委員会は、各部門に関する専門的な知見を有する者のうちから知事が依頼する者をもって構成する。

(2) 審査委員会は、応募（推薦を含む。）のあった候補者を書類により選考する。この場合、必要により、応募者に対し参考資料の提出を求め、また現地調査を行うことができる。

(補則)

第5条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

この要領は、平成16年9月17日から施行する。

この要領は、平成22年10月5日から施行する。

この要領は、平成23年7月29日から施行する。

この要領は、平成25年9月5日から施行する。

この要領は、平成26年7月25日から施行する。

この要領は、平成27年7月22日から施行する。

この要領は、平成28年7月6日から施行する。

この要領は、平成 29 年 7 月 6 日から施行する。
この要領は、平成 30 年 7 月 24 日から施行する。
この要領は、令和元年 7 月 10 日から施行する。
この要領は、令和 2 年 8 月 27 日から施行する。
この要領は、令和 6 年 6 月 11 日から施行する。

様式 1

年 月 日

神奈川県知事
株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長 殿

団体名

氏名または団体代表者名

〔団体の場合は代表者名を記入してください。〕

かながわ脱炭素大賞の応募(推薦)について

このことについて、別紙及び関係書類を添えて応募(推薦)いたします。

応募する部門	部門
--------	----

(自薦)

取組の名称	取組の概要

(他薦)

被推薦者の氏名又は団体名	取組の名称	取組の概要

※被推薦者の了承： 了承済み

担当者氏名	担当者連絡先
	電話： 電子メール：
住所	
〒	

様式 2

応募（推薦）調書 [普及・促進部門 個人用]

☆ 自薦の場合は応募者自身について記入してください。他薦の場合は被推薦者について記入してください。

氏名	(ふりがな)	連絡先	電話： 電子メール：
住所	〒	職業	
ウェブサイト、SNS など		これまでの受賞歴	
主な活動地域		活動の目的	
神奈川県との関わり			
活動(開始) 年 月	活動開始	年 月	活動期間 年 月
活動の内容 【活動実績】 ※この欄に記入しきれない場合は別紙（様式任意）により追加してください。	(脱炭素に向けた実践的な活動の期間及び範囲等具体的な活動内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。)		
【独自性】	(活動における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。)		

【普及効果】	(地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。)
【連携】	(地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の見込み等を記入してください。)
【継続性】	(今後どのように持続的に展開していくのか、将来に向けた活動の予定や発展の見込み等を記入してください。)
【その他】	(上記のほか、活動の成果や、アピールしたいポイントなどを自由に記入してください。)
推薦理由	(他薦の場合は推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。)
備 考	(添付資料名等を記入してください。)

(第 回かながわ脱炭素大賞)

応募（推薦）調書〔普及・促進部門 団体用〕

☆自薦の場合は、応募者自身について記入してください。他薦の場合は、被推薦者について記入してください。

団 体 名	(ふりがな)		代表者職氏名	
所 在 地	〒			
連 絡 先	電 話： 電子メール：	担当者職名 氏名		
設立年月日			構成人員	
団体の構成・ 事業内容等	(組織の概要や団体の活動内容等を記入してください。)			
ウェブサイト、 SNS など			これまでの 受賞歴	
主な活動地域			活動の目的	
神奈川県との関わり				
活動(開始) 年 月	活動開始	年 月	活動期間	年 か月
活動の内容 【活動実績】 ※この欄に記入し きれない場合は別 紙(様式任意)によ り追加してくださ い。	(脱炭素に向けた実践的な活動の期間及び範囲等具体的な活動内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。)			
【独自性】	(活動における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。)			

【普及効果】	(地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。)
【連携】	(地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の連携等を記入してください。)
【継続性】	(今後どのように持続的に展開していくのか、将来に向けた活動の予定や発展の見込み等を記入してください。)
【その他】	(上記のほか、活動の成果や、アピールしたいポイントなどを自由に記入してください。)
推薦理由	(他薦の場合は推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。)
備 考	(添付資料名等を記入してください。)

(第 回 かながわ脱炭素大賞)

様式 4

応募（推薦）調書 〔先進技術・導入部門 個人用〕

☆自薦の場合は、応募者自身について記入してください。他薦の場合は、被推薦者について記入してください。

氏名	(ふりがな)	連絡先	[電 話]
			[電子メール]
住所	〒	職業	
ウェブサイト、SNS など		これまでの受賞歴	
取組の実施期間	(継続中の取組の場合、「通算期間」は 年 月までの期間を記入) 自 年 月 日 ～ 至 年 月 日 (通算期間; 年 月)		
取組の内容	(技術や製品・サービスの開発のポイント・具体的な仕組み等を記入してください。)		
<p>【開発した技術や製品サービスの内容】</p> <p>(具体的な内容が分かる資料を添付してください。)</p> <p>※この欄に記入しきれない場合は別紙(様式任意)により追加してください。</p>			
【先進性・独自性】	(技術や製品・サービスが優れている点や独自性について記入してください。)		

【経済性・効果の持続】	(経済的効率性や、温室効果ガスの削減効果の持続性について優れている点を記入してください。)
【他者への波及効果又は技術の普及度合い】	(開発を行った技術・製品、学会発表や報道等を通じた波及効果について記入してください。)
	(開発を行った技術・製品の実績や想定される波及効果について記入してください。)
【今後の計画】	(今後どのように持続的に展開していく予定なのか、記入してください。)
【その他】	(上記のほか、アピールしたいポイントなど、自由に記入してください。)
推薦理由	(他薦の場合は、推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。)
備 考	(添付資料名等を記入してください。)

様式 5

応募（推薦）調書 〔先進技術・導入部門 団体用〕

☆自薦の場合は、応募者自身について記入してください。他薦の場合は、被推薦者について記入してください。

団体の名称	(ふりがな)	代表者職氏名	
所在地	〒		
設立年月日		担当者職名 氏名	
団体の 事業概要			
連絡先	〔部署名〕 〔電話〕 〔電子メール〕		
ウェブサイト、 SNS など		これまでの 受賞歴	
取組の実施期間	(継続中の取組の場合、「通算期間」は 年 月までの期間を記入) 自 年 月 日 ~ 至 年 月 日 (通算期間; 年 月)		
取組の内容 【開発した技術や 製品サービスの内 容】 (具体的な内容が分か るパンフレット等を添 付してください。) ※この欄に記入し きれない場合は別 紙(様式任意)によ り追加してくださ い。	(技術や製品・サービスの開発のポイント・具体的な仕組み等を記入してください。)		
【先進性・独自 性】	(技術や製品・サービスが優れている点や独自性について記入してください。)		

【経済性・効果の持続】	(経済的効率性や、温室効果ガスの削減効果の持続性について優れている点を記入してください。)
【他者への波及効果又は技術の普及度合い】	(開発を行った技術・製品、学会発表や報道等を通じた波及効果について記入してください。)
	(開発を行った技術・製品の実績や想定される波及効果について記入してください。)
【今後の計画】	(今後どのように持続的に展開していく予定なのか、記入してください。)
【その他】	(上記のほか、アピールしたいポイントなど、自由に記入してください。)
推薦理由	(他薦の場合は、推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。)
備 考	(添付資料名等を記入してください。)

様式 6

応募（推薦）調書 [ユース未来部門 個人用]

☆ 自薦の場合は応募者自身について記入してください。他薦の場合は被推薦者について記入してください。

氏名	(ふりがな)	連絡先	電 話： 電子メール：
生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳) ※表彰年度の10月1日時点の年齢を記載		
住 所	〒		
ウェブサイト、 SNS など		これまでの 受賞歴	
主な活動地域 (普及・促進等の 場合に記載)		取組の目的	
神奈川県との関わり			
取組(開始) 年 月	取組開始	年 月	取組期間 年 か月
取組の内容 【取組実績】 ※この欄に記入し きれない場合は別 紙(様式任意)によ り追加してくださ い。	(取組の期間及び範囲等具体的な取組内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。)		
【若年者らしい 発想や独自性】	(取組における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。)		

【将来性】	(今後どのように取組を発展させ、さらに成果を挙げていくのか、将来に向けた見込み等を記入してください。)
【普及効果】	(地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。)
【連携】	(地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の見込み等を記入してください。)
【その他】	(上記のほか、取組の成果や、アピールしたいポイントなどを自由に記入してください。)
推薦理由	(他薦の場合は推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。)
備 考	(添付資料名等を記入してください。)

(第 回かながわ脱炭素大賞)

様式7

応募（推薦）調書〔ユース未来部門 学校等用〕

☆自薦の場合は、応募者自身について記入してください。他薦の場合は、被推薦者について記入してください。

学校等名	(ふりがな)	代表者職氏名	
所在地	〒		
連絡先	電話： 電子メール：	担当者職名 氏名	
設立年月日		学生等数	
学校等の概要・ 事業内容等	(学校等の概要や取組内容等を記入してください。)		
ウェブサイト、 SNS など		これまでの 受賞歴	
主な活動地域 (普及・促進等 の場合に記載)		取組の目的	
神奈川県との関わり			
取組(開始) 年 月	取組開始	年 月	取組期間 年 か月
取組の内容 【取組実績】 ※この欄に記入 しきれない場合 は別紙（様式任 意）により追加 してください。	(取組の期間及び範囲等具体的な取組内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。)		
【若年者らしい 発想や独自性】	(取組における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。)		

【将来性】	(今後どのように取組を発展させ、さらに成果を挙げていくのか、将来に向けた見込み等を記入してください。)
【普及効果】	(地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。)
【連携】	(地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の連携等を記入してください。)
【その他】	(上記のほか、取組の成果や、アピールしたいポイントなどを自由に記入してください。)
推薦理由	(他薦の場合は推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。)
備 考	(添付資料名等を記入してください。)

(第 回かながわ脱炭素大賞)

応募（推薦）調書〔ユース未来部門 団体用〕

☆自薦の場合は、応募者自身について記入してください。他薦の場合は、被推薦者について記入してください。

団体名	(ふりがな)	代表者職氏名	
所在地	〒	構成人員数	30歳未満： 人 (表彰年度の10月1日時点) 全体： 人
連絡先	電話： 電子メール：	担当者職名 氏名	
設立年月日			
団体の構成・事業内容等	(組織の概要や団体の取組内容等を記入してください。)		
ウェブサイト、SNSなど		これまでの受賞歴	
主な活動地域 (普及・促進等の場合に記載)		取組の目的	
神奈川県との関わり			
取組(開始)年 月	取組開始 年 月	取組期間 年 月	取組期間 年 月
取組の内容 【取組実績】 ※この欄に記入しきれない場合は別紙(様式任意)により追加してください。	(取組の期間及び範囲等具体的な取組内容、実施頻度や参加人数などを記入してください。)		
【若年者らしい発想や独自性】	(取組における工夫や他の類似の取組との違いなど、独自で実践している内容を記入してください。)		

【将来性】	(今後どのように取組を発展させ、さらに成果を挙げていくのか、将来に向けた見込み等を記入してください。)
【普及効果】	(地域や他団体への普及状況、普及の範囲や今後の見込みを記入してください。)
【連携】	(地域や広域的な連携及び他団体との連携状況、今後の連携等を記入してください。)
【その他】	(上記のほか、取組の成果や、アピールしたいポイントなどを自由に記入してください。)
推薦理由	(他薦の場合は推薦理由を記入してください。自薦の場合は記入不要です。)
備 考	(添付資料名等を記入してください。)

(第 回 かながわ脱炭素大賞)

様式 9

団体構成員の年齢に関する誓約書〔ユース未来部門 団体用〕

年 月 日

神奈川県知事
株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長 殿

団体名

団体代表者名

本件の責任者
担当者
連絡先

団体構成員は別紙団体名簿に記載のとおりであり、過半数は表彰年度の10月1日時点で30歳未満であることを誓約します。

団体名簿

構成人員数：30歳未満（表彰年度の10月1日時点）
：全体

人
人

1	代表者 職氏名	<職名>	<氏名> (ふりがな)
	生年月日 (年齢)	年 月 日	(歳)
2	氏名	(ふりがな)	
	生年月日 (年齢)	年 月 日	(歳)
3	氏名	(ふりがな)	
	生年月日 (年齢)	年 月 日	(歳)
4	氏名	(ふりがな)	
	生年月日 (年齢)	年 月 日	(歳)
5	氏名	(ふりがな)	
	生年月日 (年齢)	年 月 日	(歳)

※年齢は、表彰年度の10月1日時点の歳を記載してください。

※必要に応じて行を追加してください。

(第 回かながわ脱炭素大賞)